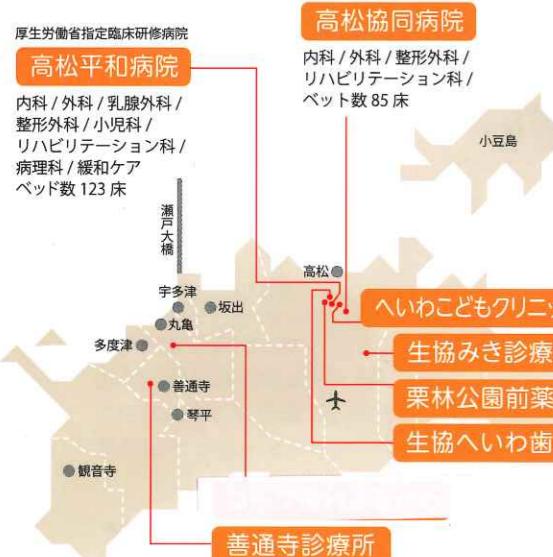


香川医療生活
協同組合 高松協同病院



〒760-0080 高松市木太町4664
tel.087-833-2330(代表) fax.087-833-2880

香川民医連のネットワーク



香川民医連の
めざすこと

いつでも、どこでも、だれもが安心して
良い医療を受けられる社会をめざして

- 患者さんの権利を守り、常に信頼される医療
- 健康づくり、明るく安心して暮らせるまちづくりに貢献
- 平和と医療・福祉を守る

厚生労働省指定臨床研修病院

香川医療生活
協同組合 高松平和病院



〒760-8530 高松市栗林町1-4-1
tel.087-833-8113(代表) fax.087-833-8759

お問い合わせ・連絡先

高松平和病院

学生担当/野口・池内

tel.070-1258-6360 mail:heiwhahp@gmail.com



香川民主医療機関連合会

高松市栗林町1-6-4
tel.087-836-9375
fax.087-836-9376



ブログ更新中

<http://www.heiwhahp.com/>

高松平和病院 医学生・研修医のページ

検索

~日々の学習企画案内・報告をblogで随時更新中~

もれなく
QUOカードを
差し上げます。



発行元:香川民主医療機関連合会

KIMAI

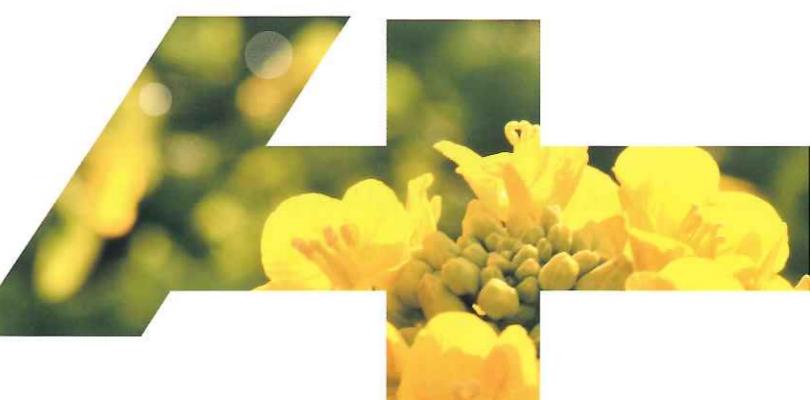
2021
Vol. 16



医学生と 香川民医連を むすぶ情報誌

CONTENTS

- ・患者さんとの心温まるエピソード
- ・育児日記
- ・企画報告
- ・私の仕事
- ・私のオススメ
- ・奨学生募集



香川民主医療機関連合会

KIMAI: 讀岐(さぬき)弁で「来てね」という意味



患者さんとの心温まるエピソード



高松平和病院 内科医
植本 真由 医師

Doctor Mayu Uemoto
profile
滋賀県出身
膳所高等学校卒
香川大学2015年卒

私は家庭医を目指して勉強しています。簡単に言うと、『誰かのかかりつけ医』になりたいと思っています。専門的な診断や治療を行って患者さんを“治す医者”というより、なにはなくとも身体や健康・病気について、まず最初に“なんでも相談してもらえる医者”になりたいです。私達医師からみたら『この病気の患者さんの診察』と思っていても、患者さんからすると『生活の中の一つの予定』が外来や訪問診療での診察です。診療の場では色々な患者さんの色々な一面をみることができます。趣味一つとっても様々あります。バイクが好き、ソフトボールをしている、水泳の次の目標、庭で花を育てている、などなど。私が特に好きなのは、患者さんのライフレビューを聞くことです。どこで生まれて、どんなところで育って、子どもの時は何をして遊んで、どんな恋をして、誰と結婚して子どもを持って、楽しかったこと辛かったこと、どんな出会いや別れがあったのか、どんな価値観を持っていて、その上で、どんな病気を経験して、今日この人は私の目の前にいるのか。それを知った上で一緒に患者さんの健康や病気について話していくと、この人はこう考えてるんじゃないかななんて思いつつ、自然と物事が進むことがあります。



笑 顔の素敵なお母さんは、夫婦で夜晚酌する時間を大切にしていました。子どもが独立後、義母の介護に追われて趣味のスポーツの時間も減らして過ごす中でも、その時間は二人きりで色々な話をしながら夫は飲んで、一緒におつまみを食べるのだそうです。私はその患者さんの肥満を心配していましたが、その時間は夫と一緒におつまみを食べましょう、一日でも長く健康でいて夫との晩酌が続けられるようにしましょうと患者さんと決めて、それ以外の部分で食事指導を行ってきました。患者さんは徐々に減量できていき、最近ダイエットが成功していることも二人の話のネタになっていました。&喜んでおられました。



夫 婦ともに訪問診療でみていた高齢のお二人からは、お見合い結婚して数日で妻は実家が恋しくなって帰ってしまったけど、夫が迎えにきてくれ、家までおぶって帰ってくれたこと、姑さんからは厳しく言われたけど、それを夫がかばってくれたことを感謝していると聞かせてくれました。このご夫婦は認知症の夫が妻に甘えて色々わがままを言って妻の負担になっているように周りからはみえていたのですが、妻は夫のそんな優しさにずっと感謝していて、夫の意見をちゃんと聞こうとしてるんだな、と少し理解ができたような気がしました。

あ る患者さんは、香川での戦争体験を話してくれました。高松空襲後の中央通りが怪我人であふれていたこと、ある地域では疎開者がたくさんやってきて、米農家の自分が米を食べていると他の皆が食べられない中で!と学校の先生に怒られたこと、戦後は田舎から都会に人がどんどん出ていきあつという間に過疎地になってしまったことなどを教えてくれました。この患者さんは田んぼや畠仕事を大事にしていて、仕事をしては腰が痛いや肩が痛いと言っていました。頑張りすぎない程度にしてくださいといつも伝えていましたが、この土地でお米や野菜を育てて食べられることの幸せを知っているのかなと思いました。



患 者さんから聞くお話は、いつもドラマチックな何かがあるわけではないですが、それぞれにまったく違うストーリーがあります。私自身色々なことを感じたり、教わることも多いです。患者さんにとって『診療』が憂鬱な予定にならないように、これからも色々な話を聞きながら、その人らしく健康でいるお手伝いがしていただらよいなと思っています。

02

育児日記



安田 理 医師

Doctor Osamu Yasuda

profile

香川大学 2017年卒

大阪府出身 茨木高等学校卒

はじめに

初期研修終了後、ちょうど長女が生まれた直後から内科後期研修医として高松平和病院で働き始めて、病棟や外来業務を中心に3年間、内科の医師として働き続けてきた。今回、長男の出産を契機に育児休業を取得したため、そのことについての私の考えを世間の動向なども踏まえて書いてみようと思う。

子育ての実際

私が育児休業を取得させてもらった理由として、もっと大きいのは妻の負担を減らすことはもちろんだが、子供と過ごす時間をより多く持ちたかったからである。こう書くとこれまでの仕事が非常に大変だったような印象をあたえてしまうが決してそうではなく、この三年間にも長女の急な発熱の時などに早退さ

せてもらうことも多く、それ以外にも様々な家庭の事情を考慮した働き方をさせてもらえていた。我が家ではこれまで妻もフルタイムで働いていたこともあり、私自身かなり家事や育児をしていましたのであると自身では思っている。ただ、世の多くの女性が思っているようにおそらく私の妻も夫の家事育児に対する関わりが不十分であると思っていただろう。夕食の準備や保育園関連の手続きなどの多くはこれまで妻に依存している面も多かったと今になって反省している。今回私が育児休業を取得するにあたっては、家事の全てと長女ることは全て私が担当し、妻には新しく生まれてくる長男の面倒に専念してもらうことで、妻とは取り決めがされていた。私の現在の生活はというと、平日は朝7時に起床し、朝食の準備をし、8時に長女を保育園に送っている。帰宅後、掃除洗濯などをしつつ昼食の準備、午後は妻と二人で長男の沐浴、その後食材の買い出しや夕食の下ごしらえをする。17時頃に長女の迎え、帰宅後に長女と入浴、その後夕食の準備、夕食を済ませる。20時頃に長女の歯磨きの後、アニメ「おさるのジョージ」を2話見せて、21時頃に寝室に入る。寝室では絵本を3、4冊読み聞かせてから、長女を寝かしつけるという感じの生活を送っている。休日は保育園が無い分、公園で一緒に遊んだり、図書館に連れて行ったりしながら、家事をしつつ長女の面倒をみている。

育児休業に入って2週間程が経過しているが、今のところ当初の予定通り、妻には長男の育児に専念してもらっていると考える。このため、妻の負担はかなり減っているようであり、私に対する評価も上々である。

育児休業を取得するまでは、育児する傍ら自分のしたいことが出来るのではないかと安易に考えていたが、実際に始まってみると日々の雑事に追われてしまって、時間的な余裕はあまりないことがわかった。家事や育児には先のような目に見える分かりやすいことだけでなく、日々の献立づくり、チラシでの情報収集、保育園の持ち物の準備、食べこぼしの後始末、おもらしの処理などがあり、そういったことでか



なりの時間を使ってしまうためと思われる。まだ始まったばかりで、効率よく進められていない面もあるが、当初の目論見とは大きく違っていたことは変わりはない。このため、育児休業取得の最初の目的は果たせていると思うが、二つ目の目的はあまり果たせていない状況である。今後は家事を出来るだけ効率的に進められるように努力して、その分を子供達と過ごせる時間にできればと思う。

世間の動向など

ところで、ここ最近は世間でも男性の育児休業が多くメディアで取り上げられるようになっており、男性の育児休業も広まってきているように感じられる。2018年の調査によると男性の育児休業取得率は6.2%であり、女性に比較するとまだまだ多くはない状況ではあるが、それでも以前からのデータと比較すれば徐々に増加傾向にはなっている。同調査によると利用希望があったにもかかわらず利用できてい

ない男性が35%程度あり、その理由としては会社で制度が整備されていなかったことや取得しづらい雰囲気だったこと、自分にしかできない仕事があったことなどがあげられている。

このように依然として日本では男性が育児休業を取得するのがあたりまえになっている状況ではなく、上述のような職場も多い中で、当院のように男性の育児休業取得の実績がある職場というのは貴重な存在であると考える。また、当院では育児休業という形態以外にも、様々な理由で多様な働き方をしている医師が多く在籍しており、働き方の選択肢が多く非常に働きやすい職場であると感じている。

これからの世の中はこれまで以上に働き方の多様性が広がっていくものと考える。女性が家庭で男性が外でということだけではなく、仕事と育児の両立という面だけではなく、様々な働き方を選択できる環境に変化していくことが予想される。そのような職場環境の変化の中で、働きやすい職場にはより多くの人が集まり、さらに働きやすさが改善されていく一方で、働きにくい職場には人が集まらずに淘汰されていくことになるだろう。

今回、私が育児休業を取得したことが今後の育児休業の取得のし易さにつながり、これから育児を経験していくことになる若い世代の人たちの働きやすい職場づくりにつながってくれればと思う。



企画報告

医療系学生支援 お弁当マルシェ開催中!

香川大学医学部裏にあるサポートセンターでは、毎週水曜日12:00～13:00ランチミーティングを開催しています。以前は対面でのランチをしていましたが、コロナの影響で、お弁当配布することとなりました。ハンバーグ弁当、八宝菜弁当、唐揚げ弁当などを20食程作り、医療系学生たちはテイクアウトしています。自粛生活が長く料理しづらく栄養のバランスがままならない学生、アルバイトで生計を立てていたがやめざるを得なくなったりした学生、生活様式が一変し環境変化になじめず、閉塞感から

気分が沈みがちだった学生、そんな学生たちにこまめなサポート、継続的な支援を行い、心身共に安定するよう願っています。組合員さんや自治体からの食材支援も実施中。今後はお弁当マルシェ+食材支援も行う予定です。



▲スープランチ



▲感染に気を付けながらランチづくり



▲唐揚げ弁当

- 感想
- 栄養バランスがとれた弁当で野菜が多くてうれしい。週1回でも助かっている。
 - 雰囲気が良く、居心地がいい。コロナが落ち着いたらランチミーティングを再開してほしい。
 - 感染拡大し部活が中止になった。交流する場所がなかったが、サポートセンターに行くと先輩学生がいろいろ教えてくれた。相談できないことでも気軽に相談できたため良かった。
 - バイトの収入がなかったときは助かった。お弁当も助かるが、食材支援も助かる。

模擬面接 開催しました



香川県内5校から26名参加。医学科受験対策として毎年10月と2月に模擬面接講座を開催しています。今回は感染症対策に留意しながら対面式で開催しました。面接では、現役医師、看護師、事務管理部などが面接官役をつとめ、本番さながらの緊張感の中、集団討論、個人面接練習をしました。



▲医師・医学生との交流
◀参加者へ合格鉛筆&合格絵馬をプレゼント

- 感想
- 緊張感のある雰囲気の中で行えたのは、とてもいい経験となった。
 - 同じ年代の人たちの意見を聞くことによって、新たな見解が得られた。
 - 言いたいことを考えていても緊張して頭が真っ白になってしまうことが分かった。
 - 医学科受験へのモチベーションアップにつながった。
 - 医師、現役医学生との交流は受験のアドバイスをもらえてよかったです。
 - 事前にいただいた資料のおかげで結論をはじめとする流れに従って受け答えができるように思う。

アンケートにお答えいただいた方にはもれなく
QUOカードを進呈致します。

郵便はがき

760 8790

214 香川県高松市栗林町一三一十四
学生担当
受取人



差出有効期間
2022年
年6月30日まで
(ハサミで切り取ってください)
切手を貼らないで投函してください



▲開会式

06

私の仕事



高松平和病院
健康づくり課
吉岡 佳代子
Kayoko Yoshioka



高松平和病院健康づくり課、保健師の吉岡です。健康づくり課では1年を通じて様々な健診を行っています。企業健診や特定健診を始め被爆者健診、ひかり協会健診（森永ヒ素ミルク被害者）、じん肺健診など特殊な健診なども含め一年間に8000件ほどの健診を行っています。その中で保健師として早期発見、早期治療に繋げるために健診結果を基にその人の生活習慣に合わせた、食事や運動の指導を行い何か生活改善するきっかけとなり必要な方には治療へと繋がるよう、保健指導を行っています。

その他、主な保健師業務としては職員の健康管理と感染症対策です。年2回の健診の勧奨や要精査の方への受診勧奨。B型肝炎や感染症の抗体を保有していない職員に対してワクチン接種とデーターの管理などを行っています。職員の感染予防や健康の確保のためとても重要となっています。

また、衛生管理者として月1回院内で安全衛生委員会を開催し病院内の職場巡視、職員健診やワクチンの接種状況を報告したり、長時間労働者や休職者の報告など様々な審議を行い病院と職員との間に立って基準を決め働きやすい環境作りが出来るようになっています。

平和病院で保健師として働き始めて10年目となりました。

健診に来られる方が安心し、信頼して受けけることの出来る健診を目指し、職員の健康を守りよい環境で元気に働き続けることが出来る職場づくりが出来るよう、これからも頑張っていきたいと思っています。

07

KIMAIアンケートはがき 2021年Vol.16

- ①今号の記事で一番面白かった記事は? 【Oをしてください】
 ・患者さんとの心温まるエピソード ・育児日記 ・企画報告

②感想をご記入ください

③医学・医療で、今関心があることは何ですか?

④病院実習について(医学生のみご記入下さい)

- 実習してみたい(希望日
 (内容
 検討中 今は希望しない

*ご意見ありがとうございます

お名前		
ご住所	〒	
	市・郡	町・村
アパート名	号室	
学校名	高校・予備校・大学(医)	年生
携帯TEL	-	
E-mail	@	

アンケートにお答えいただいた方にはもれなくQRCODEカードを進呈致します。
(ハサミで切り取ってください)

編集後記

COVID-19に翻弄された1年でした。学生たちに寄り添い、学ぶ要求に応え、共に歩んできた取り組みを今後も続けていき、あらゆる支援を行っていきたいと思います。



私のオススメ

植本 一駿

Kazutoshi Uemoto 高松平和病院(内科医) 香川大学2014年卒 岡山県出身



私のオススメはやはり「公園」です。

私が特に好きな公園は「あじ竜王山公園」です。庵治町にあるこの公園は、アクセスが高松駅から車で40分と抜群のアクセスを誇ることを売りにしていました。ちなみに実際に車で向かうと信号やら何やらで結局1時間くらいかかります。合っているのか分からぬ道を進むと、案内が出てくるのでさらに進むと公園が出てきます。公園の規模としてはだいたい東京ドーム1個分くらいで公園内は芝生と謎のアート作品が多くあります。海辺の公園なので景色もよく抜群のアクセスの甲斐もありしばらく人がいる程度なのもポイントが高いです。そんな中でベンチで作業をしたり、レジャーシートを敷いてだらだら過ごすのも楽しいと思います。文字数の関係であまり長く書けませんが、みなさん一度お気に入りの公園を探してみてはどうですか。



▲散策の有名スポットです。

馬越 隆光

Bakoshi Takamitsu 香川大学医学部医学科6年 香川県出身



私が紹介するのは、梨木香歩さん著書の『西の魔女が死んだ』です。この本は、中学に進んでまもなく、どうしても学校へ足が向かなくなつた少女まいが、季節が初夏へと移り変るひと月あまりを、西の魔女こと祖母のもとで過し、魔女の手ほどきを受けるというお話です。その魔女のあり方というものが、何でも自分で決めるというものです。自分で決め、自分で決めたことをやり遂げる、言葉にするのは簡単ですが、実際に行動に移すのは大変難しいことです。その難しさを少女まいを通して感じ、自分という個を立たせる大切さ、生きるということを考えさせられ、今なお私の心中にあり続ける本です。

◀映画化もされています

長谷川 貴彦

Takahiko Hasegawa 高松平和病院 事務長 香川県出身



私はこれといった趣味が無く、強いて挙げるとしたらボーリングくらいかなと思います。

こどもの頃はのんびりとした地元では唯一の遊び場が「ボーリング場」でした。私だけではなく同級生も結構な割合で行っていました。そのお陰で平均スコアが150~160点を出せるようになり自分の中でいつの間にか得意分野になっていました。しかし最近は全く行けていません。このコロナ禍が落ち着いていたら再開しようと目論んでいます。

08

